



平成28年11月1日(火)

国土交通省関東地方整備局

企画部

## 記者発表資料

### 首都直下地震の発生に備え実動訓練を実施します

～平成28年度首都直下地震防災訓練(実動訓練)～

関東地方整備局では、首都直下地震の発生に備え、より一層の災害対応力の向上の為、11月8日(火)に実動訓練を実施いたします。

#### 1. 目的

救命救急活動や緊急支援物資の輸送など円滑な緊急活動を支援するため、道路啓開や大規模浸水地域の排水、航路啓開などについて、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性を確認し、具体的で実効性のある計画へスパイラルアップを図ります。

また、訓練を通じ関係機関との連携を深めるとともに、職員の災害対応能力の向上を図ります。

#### 2. 日程

平成28年11月8日(火)【予備日】11月15日(火):道路啓開訓練会場を除く

#### 3. 訓練概要(主な内容)

##### 1) 本部会議訓練

時間 : 10:00～11:30

場所 : さいたま新都心合同庁舎2号館

担当 : 本局(企画部防災課)

##### 2) 大規模浸水地域排水訓練

時間 : 9:30～11:20

場所 : 荒川河川敷(荒川ロックゲート)

担当 : 荒川下流河川事務所

##### 3) 道路啓開訓練

時間 : 10:30～12:00

場所 : 戸田バスターミナル

担当 : 大宮国道事務所、北首都国道事務所

##### 4) 航路啓開訓練

時間 : 13:00～15:15

場所 : 東扇島地区基幹的広域防災拠点

(川崎市川崎区東扇島東公園)

担当 : 首都圏臨海防災センター

##### 5) 緊急支援物資輸送訓練

時間 : 10:40～11:30

場所 : 荒川河川敷(小松川リバーステーション)

担当 : 荒川下流河川事務所

※実施時間は変更になることがあります。

#### 4. 訓練中止の取り扱い

- 1) 管内で地震災害・風水害等が発生した場合は、延期となります。
- 2) 予備日において、管内で地震災害・風水害等が発生した場合は、中止となります。

#### 5. 取材希望

取材を希望される報道関係者は、11月4日(金)12:00までに別紙「取材申込書」を用いて企画部防災課に申し込みをお願いします。

なお、訓練会場では、各種訓練を実施しておりますので、安全確保のため現地スタッフの指示に従って下さい。

また、取材時には、必ず腕章又は身分証明書を着用いただくようお願いいたします。着用が無い場合は、取材をご遠慮いただく場合があります。

本部会議訓練終了後、囲み取材を予定しております。

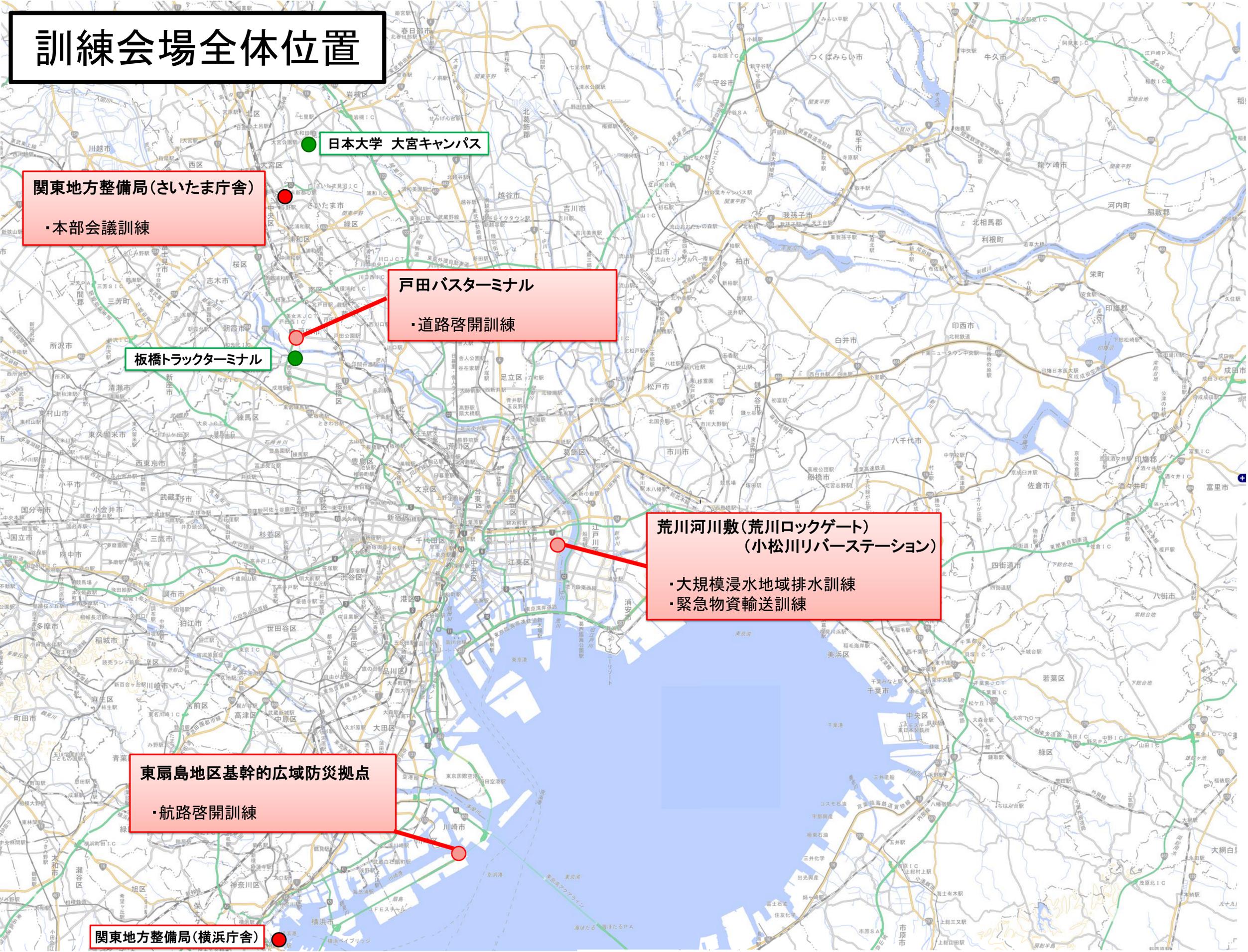
東扇島地区基幹的広域防災拠点での各訓練の詳細については、首都圏臨海防災センターのHPの記者発表資料を参照願います。

HPアドレス：<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/kawasakibousai/index.html>

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ	埼玉県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会

問い合わせ先	
<b>国土交通省 関東地方整備局</b>	
<b>【訓練全般】</b>	
企画部 緊急災害対策調整官	設楽 隆久
企画部 防災課 建設専門官	三好 健次
<b>【河川関係】</b>	
河川部 河川管理課 課長補佐	嵯峨 弘喜
<b>【道路関係】</b>	
道路部 道路管理課 課長補佐	山中 直人
<b>【港湾空港関係】</b>	
港湾空港部 首都圏臨海防災センター センター長	佐藤 勝
課長補佐	松本 茂
企画部 防災課	048-600-1333 (ダイヤルイン)
河川部 河川管理課	048-600-1338 (ダイヤルイン)
道路部 道路管理課	048-600-1345 (ダイヤルイン)
首都圏臨海防災センター	044-281-2330 (ダイヤルイン)

# 訓練会場全体位置



● 日本大学 大宮キャンパス

● 関東地方整備局(さいたま庁舎)

・本部会議訓練

● 戸田バスターミナル

・道路啓開訓練

● 板橋トラックターミナル

● 荒川河川敷(荒川ロックゲート)  
(小松川リバーステーション)

・大規模浸水地域排水訓練  
・緊急物資輸送訓練

● 東扇島地区基幹的広域防災拠点

・航路啓開訓練

● 関東地方整備局(横浜庁舎)

# ■東扇島地区基幹的広域防災拠点会場(航路啓開訓練)

## 首都直下地震防災訓練(実動訓練)

### アクセス

- ・住所: 川崎市川崎区東扇島58-15
- ・最寄りバス停: 川崎駅から市営バス(川05)で「東扇島東公園前」下車徒歩5分
- ・最寄りIC: 東扇島インターから車で約8分



⑨緊急物資輸送訓練(海自)

③緊急確保航路啓開訓練  
(整備局、埋立浚渫協会、海保)

⑩緊急物資航空輸送訓練  
羽田空港より物資空輸(陸自)

⑩緊急物資航空輸送訓練  
有明防災拠点へ物資空輸  
(横浜消防)

①要員参集訓練  
(整備局、運輸局、川崎市)  
⑩緊急物資航空輸送訓練  
みなとみらいHPへ物資空輸  
(整備局)

⑧応急復旧(仮設橋梁)訓練  
(埋立浚渫協会)

⑥航空灯火設置訓練  
(整備局)

⑦エアレント(物資仕分け用)設営訓練  
(埋立浚渫協会、川崎港運協会)

⑥臨時駐機スポット設置訓練  
(埋立浚渫協会)

②人命救助訓練  
有明防災拠点へ救急搬送  
(県警・川崎消防)

⑤ライフライン応急復旧訓練  
(東京電力川崎支社)

⑭防災車両等展示

⑧応急復旧(液状化地盤)訓練  
(埋立浚渫協会)

②人命救助訓練  
(川崎臨港警察署、川崎市臨港消防署、川崎DMAT)

⑪緊急物資一時保管訓練  
(川崎港運協会、神奈川県倉庫協会)

⑬雨天時電源供給訓練  
(埋立浚渫協会)

⑨緊急物資海上輸送訓練  
(埋立浚渫協会)

④緊急輸送路啓開訓練  
(JAF神奈川県支部)

①要員参集訓練

⑫津波避難訓練

整備局・運輸局・川崎市

川崎市・県警・殿町小学校

海上障害物撤去

べいくりん 海底障害物探査

べいさーち 浮遊油拡散

巡視艇

人工海浜

小松川リバーステーション(荒川)へ

川崎港運協会  
舟運岸壁での台船への積込

# 取材申込書

※11/4（金）12：00までにお申し込みください

国土交通省関東地方整備局港湾空港部

首都圏臨海防災センター 宛

FAX番号 044-281-2331

（11/8 首都直下地震防災訓練 東扇島防災拠点における取材）

会社名		
担当者名		
連絡先：部署等		
電話番号		
取材体制：人数		
レポーター 有無	有	無
インタビュー有無	有	無

連絡事項	
------	--

連絡事項欄は、インタビュー内容など適宜ご利用ください。

※電話でも登録いただけます。

※インタビュー内容についてこちらから問い合わせをする場合がございます。

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり、本件に関するご連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

## ■連絡先

〒210-0869 川崎市川崎区東扇島58-15

担当 首都圏臨海防災センター長 佐藤、 課長補佐 松本

電話：044-281-2330

FAX：044-281-2331